

第3章 暮らしの満足度【問7】

1 生活重要度【問7】

身近な生活に関する44項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「わからない」を加えた6区分とした。

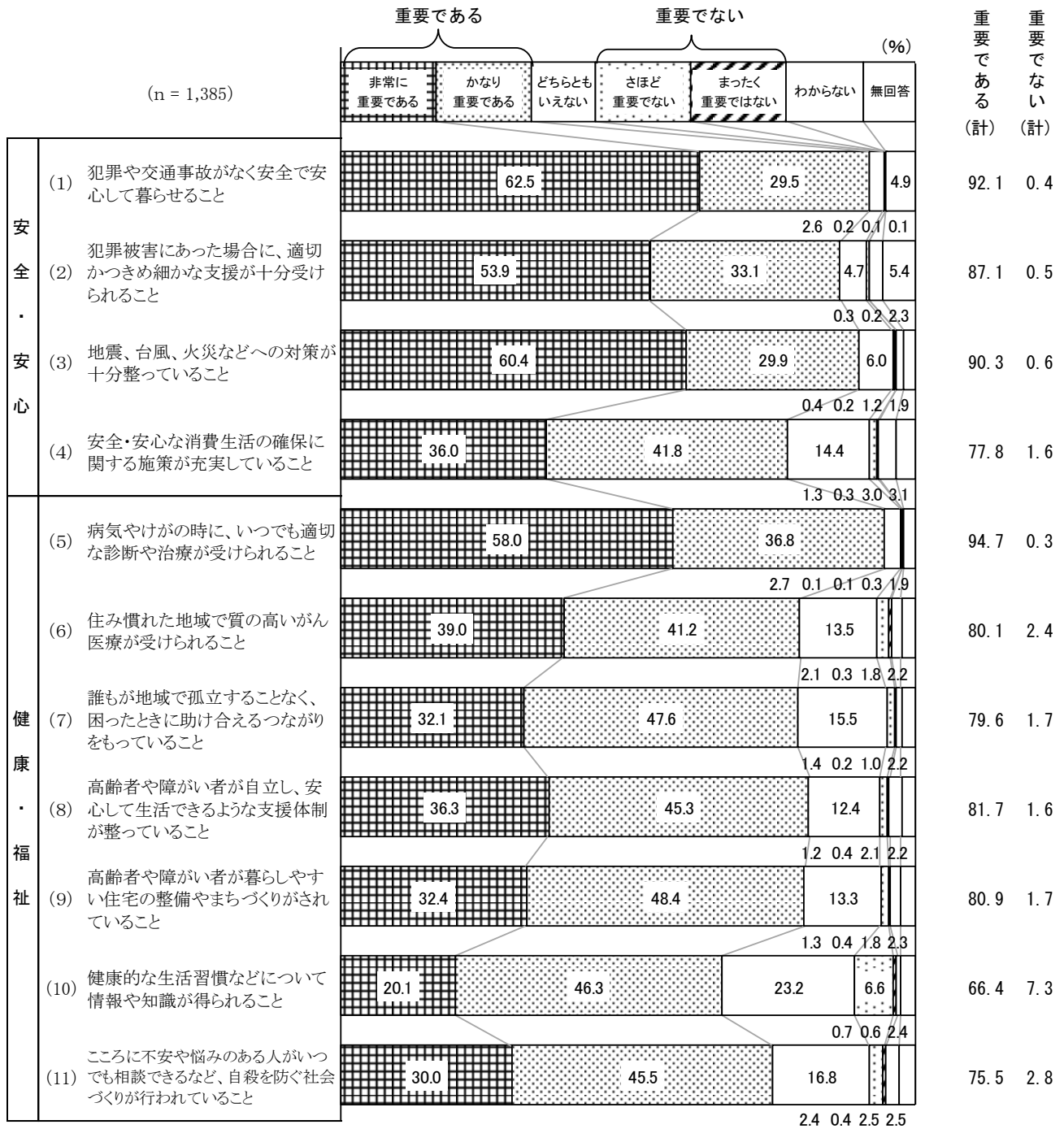
【全体の状況】

項目別の生活重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

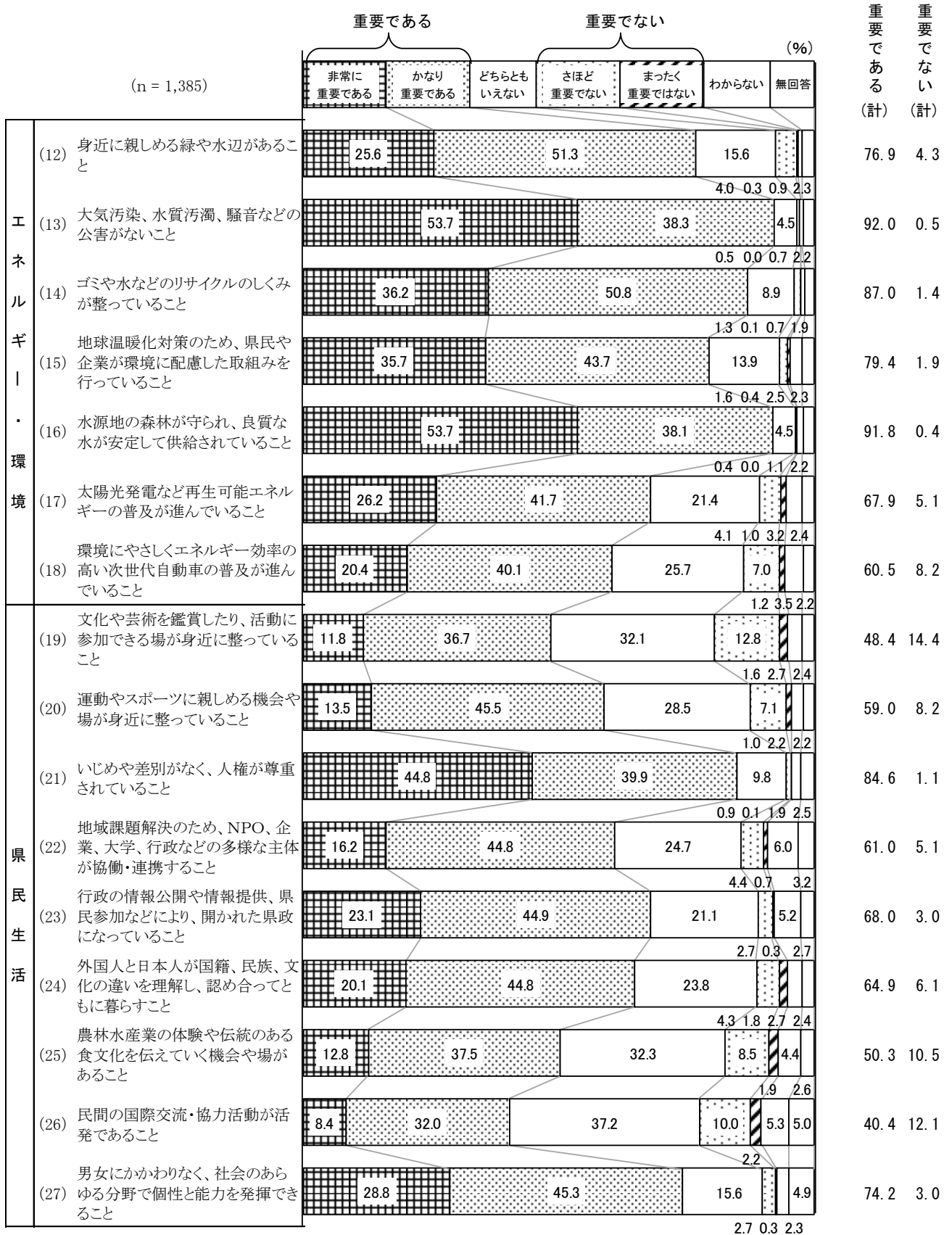
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(94.7%)、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」(92.1%)、「(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(92.0%)、「(16) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」(91.8%)、「(3) 地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること」(90.3%)、「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(90.0%)がそれぞれ9割以上であった。(図表3-1-1)

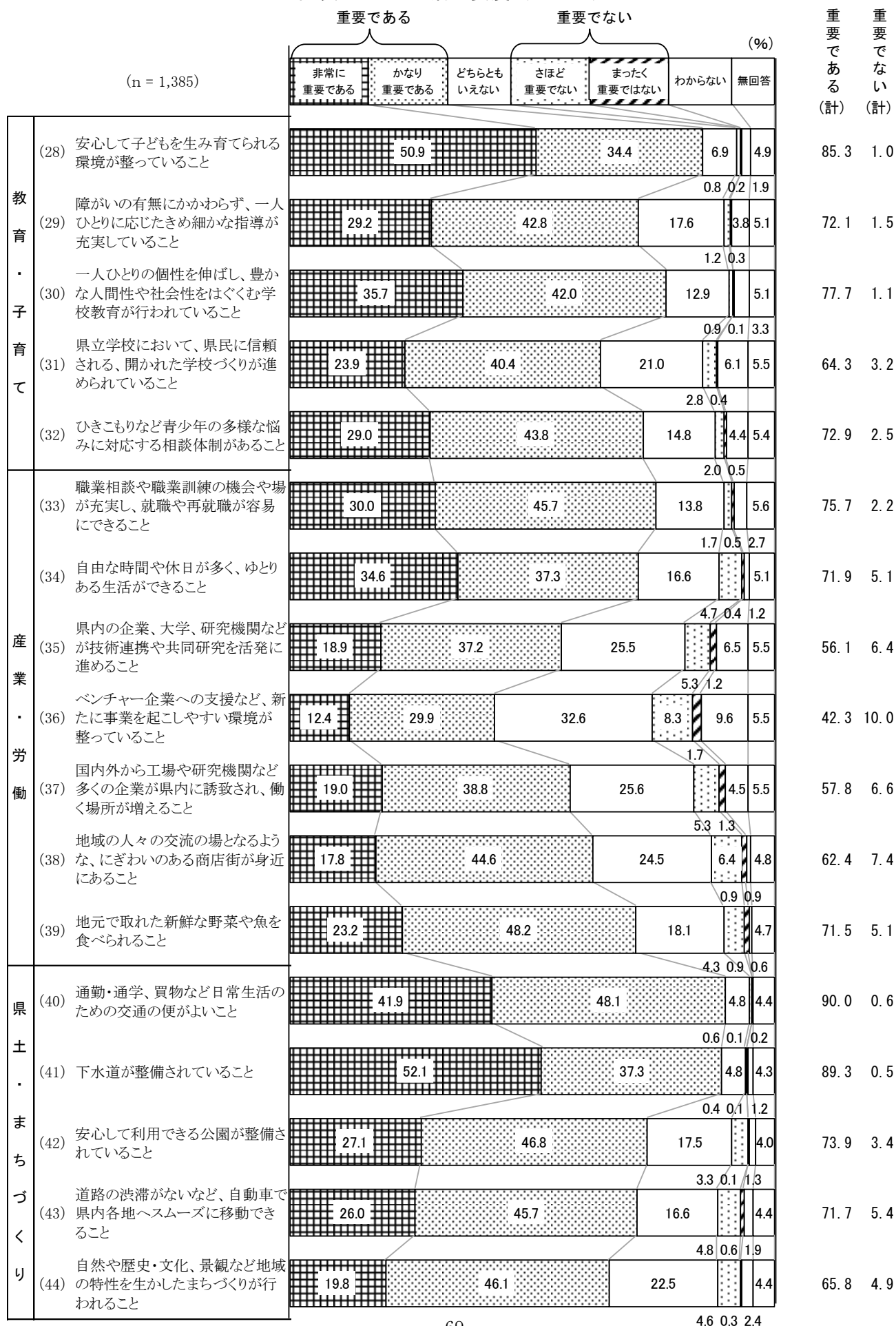
図表3-1-1 生活重要度



図表3-1-1 生活重要度（つづき）



図表3-1-1 生活重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、前回第2位であった「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が第1位となった。「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」は、前回調査の第1位から第2位となった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 生活重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)
1位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (96.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (95.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (94.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (95.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (94.7%)
2位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (96.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (94.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (93.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (95.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (92.1%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	下水道が整備されていること (91.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (91.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (92.9%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (92.0%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (92.6%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること (90.8%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (91.8%)
5位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (90.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (92.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (90.3%)
6位	下水道が整備されていること (91.1%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (90.2%)	下水道が整備されていること (90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (91.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (90.0%)
7位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (90.7%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (89.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること (91.4%)	下水道が整備されていること (89.3%)
8位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (90.3%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (89.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (89.4%)	下水道が整備されていること (91.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (87.1%)
9位	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (89.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (89.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (91.1%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること (87.0%)
10位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (89.5%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (87.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (89.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (90.7%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること (85.3%)

※各項目の過去との比較については、図表A (117～127ページ) を参照

【地域別の状況】

《重要である》の上位項目について地域別にみると、県全体で《重要である》の第1位となった「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」は、県西(96.6%)を除く6地域で第1位となった。県全体で第3位の「(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」は、県西が98.3%で第1位となった。(図表3-1-3)

図表3-1-3 生活重要度《重要である》の上位項目－地域別

(番号) 設問 地域 上段：順位 下段：(%)	(5)	(1)	(13)	(16)	(3)	(40)	(41)	(14)	(28)
		な病 診気 断や けが 治の 療時 がに 受受 けけ らら れるる ことこと	し犯 て罪 暮や ら交 せ通 せ事 る故 ことなく 安全 で安 心	公大 害気 が汚 ない染、 水水 質質 汚汚 濁濁、 騒騒 音音 など の	が水 安源 定地 し森 て林 供が 給守 さられ れてれ、 良良 質質 なな 水	十地 分震、 整台 つ風、 て火 い災 るな ことど への 対策 が	た通 勤勤 の・ 交通 通学、 の買 便物 がな よど い日 常生 活の	下 水 道 が 整 備 さ れ て い る こ と	みゴ がミ 整や つ水 てな いどの のリ サイ クル のし く
全 体 (n=1,385)	① 94.7	② 92.1	③ 92.0	④ 91.8	⑤ 90.3	⑥ 90.0	⑦ 89.3	⑨ 87.0	⑩ 85.3
横 浜 (n= 512)	① 95.7	③ 93.8	④ 91.8	② 93.9	⑤ 90.6				
川 崎 (n= 171)	① 95.9	③ 94.2	③ 94.2	⑤ 93.0		⑤ 93.0	② 94.7		
相模原 (n= 102)	① 95.1		② 94.1	⑤ 91.2		③ 93.1	③ 93.1		
横須賀三浦 (n= 122)	① 96.7		② 94.3	③ 93.4	⑤ 91.8	③ 93.4			
県 央 (n= 115)	① 95.7	② 91.3	③ 90.4	③ 90.4	③ 90.4	③ 90.4	③ 90.4		③ 90.4
湘 南 (n= 183)	① 95.1	④ 92.3	② 93.4	③ 92.9	⑤ 91.3				
県 西 (n= 59)	② 96.6	② 96.6	① 98.3		② 96.6			⑤ 94.9	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

【性・年代別の状況】

《重要である》の上位項目について性・年代別にみると、県全体で《重要である》の第1位となった「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」は、男性の20歳代(97.0%)・30歳代(100.0%)・40歳代(94.8%)・50歳代(95.7%)・60歳代(97.2%)・70～74歳(95.0%)及び女性の30～50歳代(94.5%～97.6%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第2位の「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」は、女性の20歳代(100.0%)・75歳以上(94.1%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第3位の「(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」は、女性の50歳代(94.5%)・60歳代(97.3%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第4位の「(16) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」は、男性の60歳代(97.2%)と女性の20歳代(100.0%)・70～74歳(100.0%)で同率も含めて第1位となった。(図表3-1-4)

図表3-1-4 生活重要度《重要である》の上位項目－性・年代別

(番号) 設問	(5)	(1)	(13)	(16)	(3)	(40)	(41)	(2)	(14)	(28)	(7)	(34)	(39)
	断病 や気 治療 やけ がの 時に 、い つで も適 切な 診 断 や 治 療 が 受 け ら れ る こ と	暮 ら せ る こ と 犯 罪 や 交 通 事 故 が な く 安 全 で 安 心 し て 暮 ら せ る こ と	大 気 汚 染 、 水 質 汚 濁 、 騒 音 な ど の 公 害 が な い こ と	水 源 地 の 森 林 が 守 ら れ 、 良 質 な 水 が 安 定 し て 供 給 さ れ て い る こ と	地 震 、 台 風 、 火 災 な ど へ の 対 策 が 十 分 整 つ て い る こ と	の 通 勤 ・ 通 学 、 買 物 な ど 日 常 生 活 の た め の 便 が よ い こ と	下 水 道 が 整 備 さ れ て い る こ と	め め 細 か な 支 援 が 十 分 受 け ら れ る こ と 犯 罪 被 害 に あ つ た 場 合 に 、 適 切 か つ き	整 つ て い る こ と ゴ ミ や 水 な ど の リ サ イ ク ル の し く み が	が 安 心 し て 子 ど も を 生 み 育 て ら れ る 環 境 が 整 つ て い る こ と	誰 も が 地 域 で 孤 立 す る こ と な く 、 困 つ た と き に 助 け 合 え る つ な が り を も つ て い る こ と	生 活 が で き る こ と 自 由 な 時 間 や 休 日 が 多 く 、 ゆ と り あ る	地 元 で 取 れ た 新 鮮 な 野 菜 や 魚 を 食 べ ら れる こ と
全 体 (n=1,385)	① 94.7	② 92.1	③ 92.0	④ 91.8	⑤ 90.3	⑥ 90.0	⑦ 89.3	⑧ 87.1	⑨ 87.0	⑩ 85.3	⑪ 79.6	⑫ 71.9	⑬ 71.5
男 性 (n=550)	① 95.8	② 91.5	④ 91.3	② 91.5	⑤ 89.3								
女 性 (n=710)	① 95.6	④ 93.7	② 94.4	③ 94.2	⑤ 92.1								
男 性18～19歳 (n=0)													
20歳代 (n=33)	① 97.0		④ 93.9			④ 93.9				① 97.0		① 97.0	
30歳代 (n=72)	① 100.0	② 93.1	⑤ 90.3		② 93.1		② 93.1			⑤ 90.3			
40歳代 (n=116)	① 94.8	⑤ 88.8			④ 89.7	② 92.2				③ 90.5			
50歳代 (n=115)	① 95.7	② 93.0	② 93.0	② 93.0			⑤ 89.6	⑤ 89.6					
60歳代 (n=106)	① 97.2	⑤ 92.5	③ 96.2	① 97.2	④ 95.3								
70～74歳 (n=60)	① 95.0	④ 90.0	④ 90.0	③ 91.7					① 95.0				
75歳以上 (n=46)	④ 89.1	③ 91.3	④ 89.1	④ 89.1		② 93.5	① 97.8						
女 性18～19歳 (n=0)													
20歳代 (n=34)	③ 97.1	① 100.0	⑤ 94.1	① 100.0	⑤ 94.1	③ 97.1							
30歳代 (n=135)	① 96.3	④ 94.8		③ 95.6	⑤ 93.3	① 96.3							
40歳代 (n=168)	① 97.6	② 96.4	② 96.4	⑤ 94.0	④ 94.6								
50歳代 (n=164)	① 94.5		① 94.5	③ 93.3	⑤ 91.5		④ 92.1						
60歳代 (n=111)	② 95.5	⑤ 91.9	① 97.3	③ 94.6	③ 94.6				⑤ 91.9				
70～74歳 (n=45)	② 97.8		② 97.8	① 100.0			② 97.8		⑤ 95.6		⑤ 95.6		
75歳以上 (n=51)	③ 88.2	① 94.1				④ 86.3	② 90.2	④ 86.3					④ 86.3

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

2 生活満足度【問7】

「生活重要度」で尋ねた項目と同じ44項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「わからない」を加えた6区分とした。

【全体の状況】

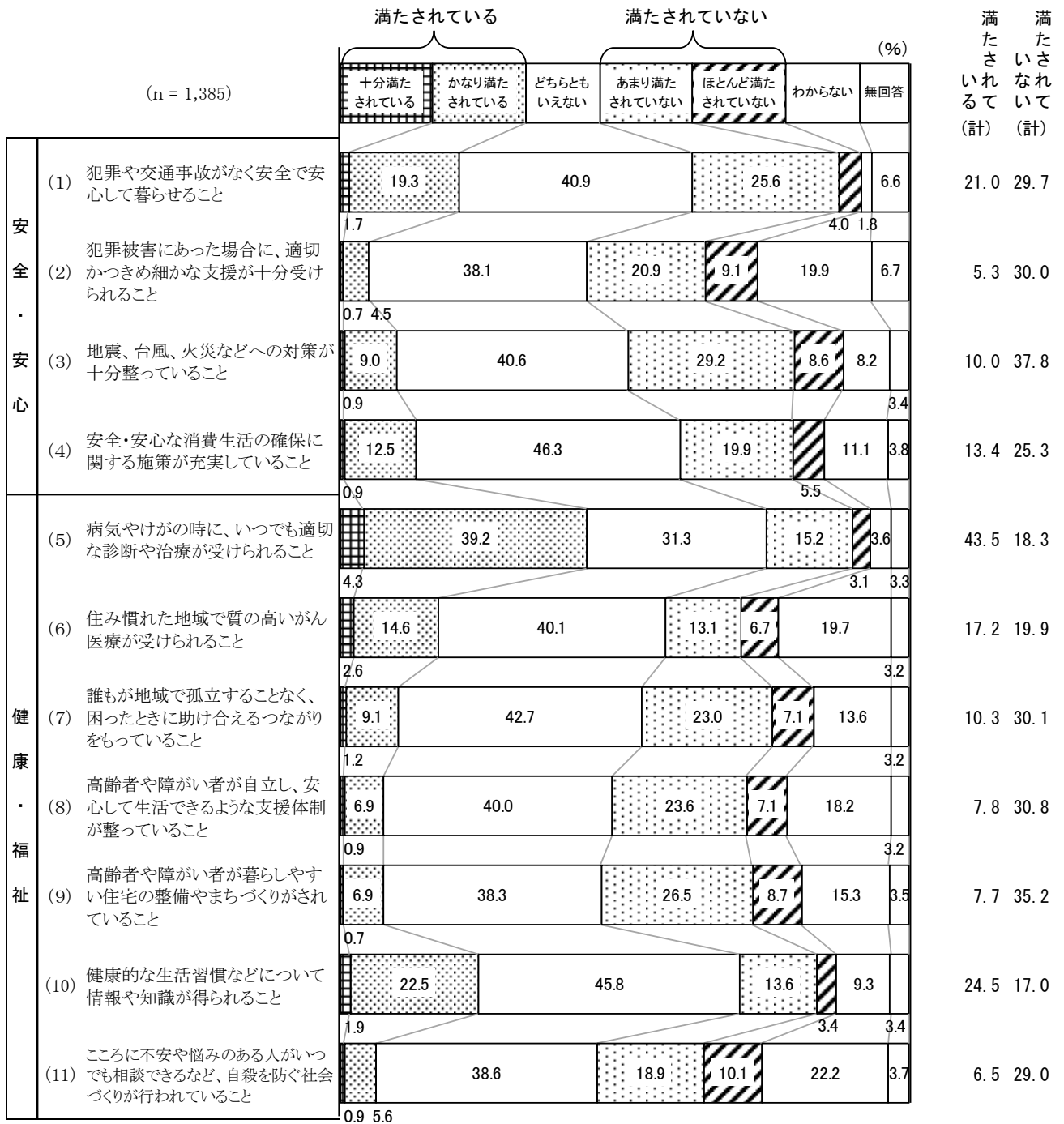
項目別の生活満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(41) 下水道が整備されていること」が68.2%で最も多く、「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(49.7%)と「(12) 身近に親しめる緑や水辺があること」(46.9%)が続いた。

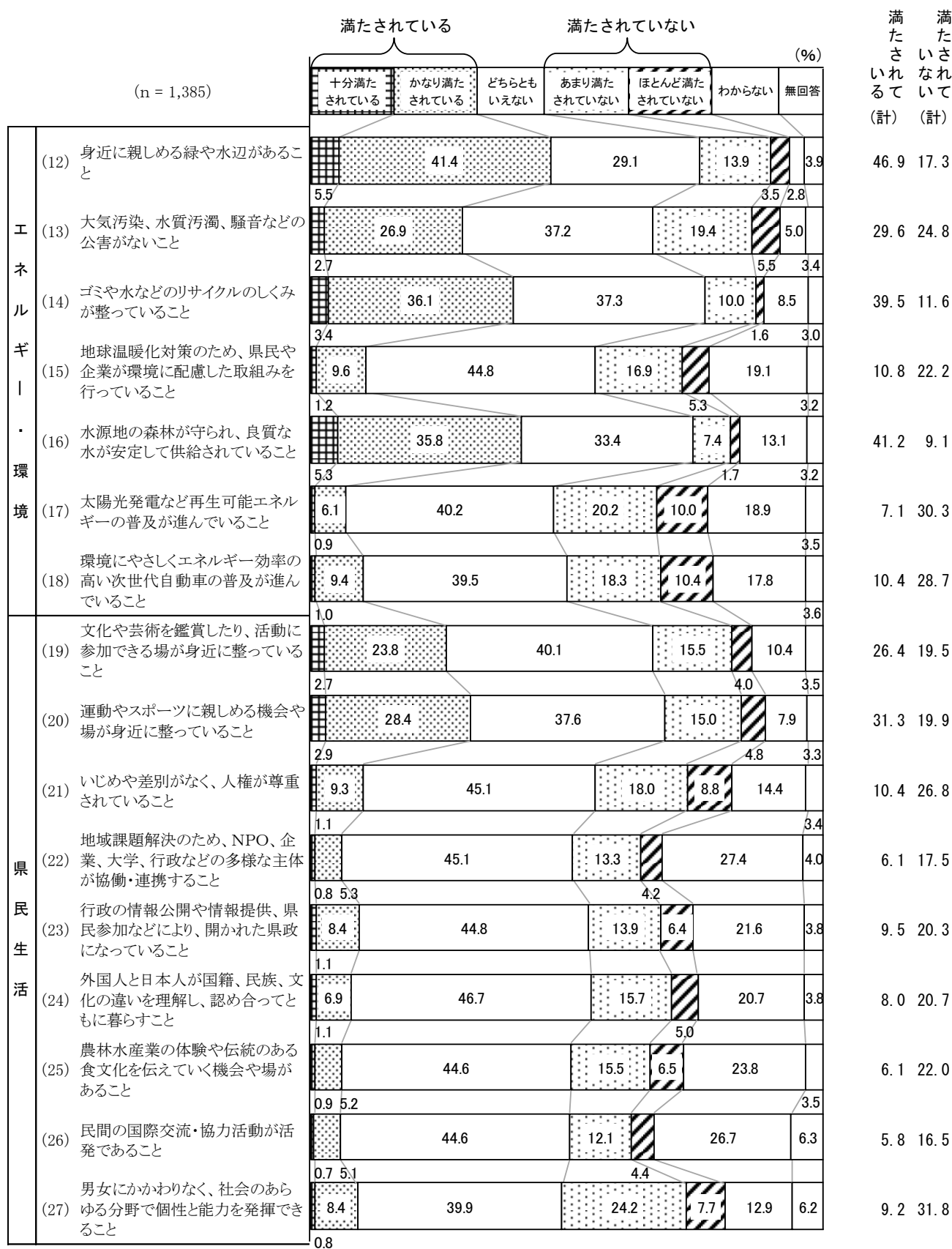
「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が41.6%で最も多く、「(3) 地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること」(37.8%)と「(9) 高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」(35.2%)が続いた。

(図表3-2-1)

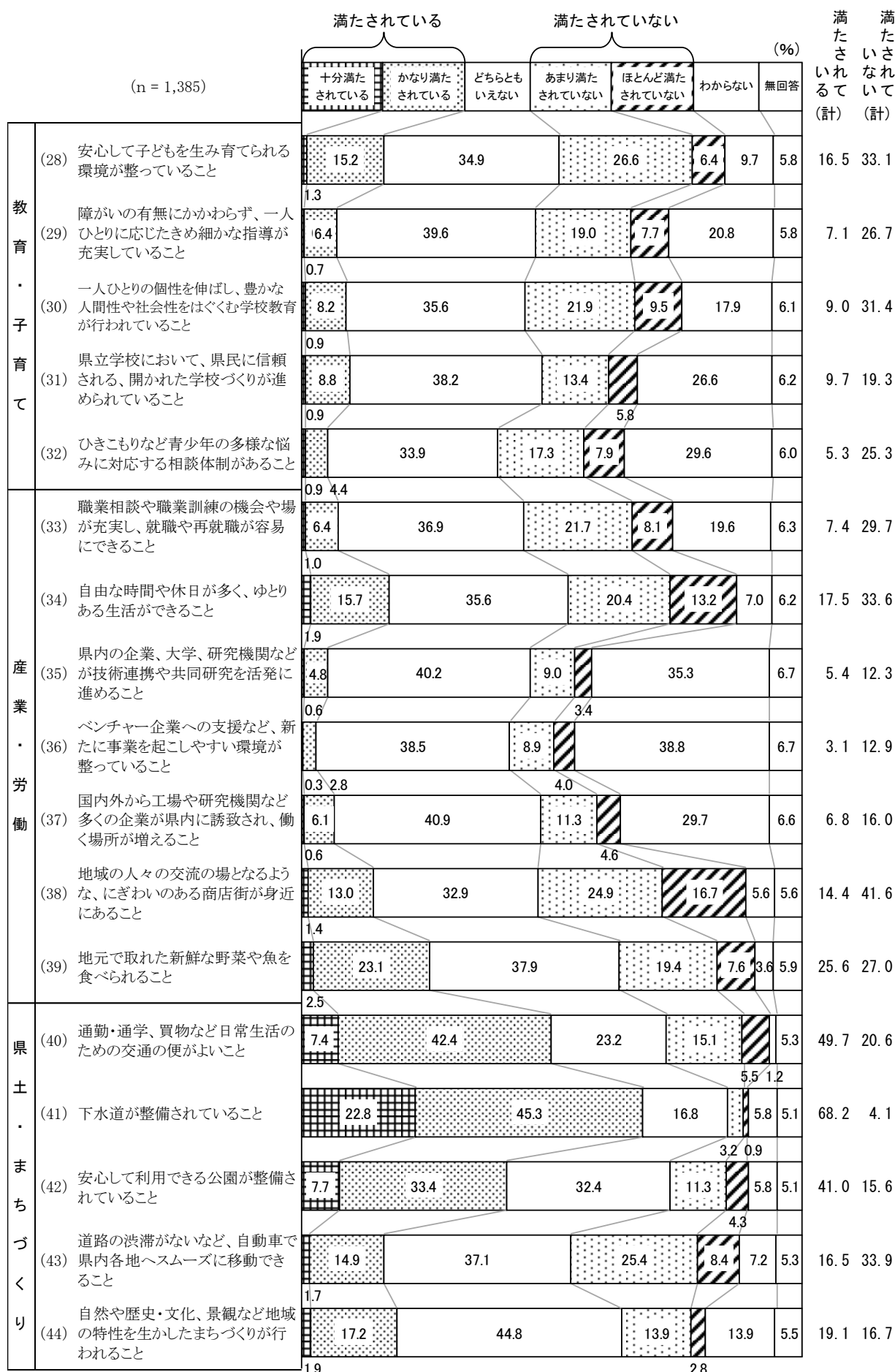
図表3-2-1 生活満足度



図表3-2-1 生活満足度（つづき）



図表3-2-1 生活満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、平成27年度～平成30年度の調査と同様に、「(41) 下水道が整備されていること」が第1位、「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が第2位、「(12) 身近に親しめる緑や水辺があること」が第3位となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 生活満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)
1位	下水道が整備されていること(69.7%)	下水道が整備されていること(68.5%)	下水道が整備されていること(65.4%)	下水道が整備されていること(68.0%)	下水道が整備されていること(68.2%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(44.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.7%)
3位	身近に親しめる緑や水辺があること(46.8%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.3%)	身近に親しめる緑や水辺があること(44.1%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.6%)	身近に親しめる緑や水辺があること(46.9%)
4位	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(44.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.5%)
5位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(41.2%)
6位	安心して利用できる公園が整備されていること(41.1%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.4%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.9%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.0%)
7位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(40.2%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(41.6%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.0%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(42.3%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.5%)
8位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(30.4%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.2%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(30.9%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.7%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.3%)
9位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(27.1%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(29.6%)
10位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(26.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(27.4%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.8%)	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること(26.4%)

※各項目の過去との比較については、図表B（128～138ページ）を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、平成27年度～平成30年度の調査と同様に、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が第1位となった。「(3)地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること」は、前回調査の第9位から第2位となった。「(9) 高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は、前回調査の第5位から第3位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 生活満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.6%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.6%)
2位	高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(38.8%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(33.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(37.8%)
3位	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(37.1%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(32.8%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(34.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること(33.1%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(35.2%)
4位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.4%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(32.3%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること(33.9%)
5位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(34.6%)	道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること(31.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること(31.8%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.3%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.6%)
6位	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(34.5%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(31.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.7%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(28.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.1%)
7位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(34.1%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(31.5%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.5%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(31.8%)
8位	高齢者や障害者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.7%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(28.0%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐむ学校教育が行われていること(31.4%)
9位	道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること(32.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(29.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(30.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(27.7%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.8%)
10位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(32.8%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(29.2%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(27.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(30.3%)

※各項目の過去との比較については、図表B (128～138 ページ) を参照

【地域別の状況】

《満たされている》の上位項目について地域別にみると、県全体で《満たされている》の第1位となった「(41) 下水道が整備されていること」は、県西(55.9%)を除く6地域で第1位となった。県全体で第3位の「(12) 身近に親しめる緑や水辺があること」は、県西が57.6%で第1位となった。

(図表3-2-4)

図表3-2-4 生活満足度《満たされている》の上位項目—地域別

(番号) 設問 地域 上段：順位 下段：(%)	(41)	(40)	(12)	(5)	(16)	(42)	(14)	(13)	(39)		
	下水道が整備されていること	常勤・通学、買い物などの便	身近に親しめる緑や水辺	受ける適切な診療や治療	病気の予防や診察、治療	良質な水が安定して供給	水源の森林が守られていること	安心して利用できる公園	ゴミや水みなどの整った環境	音など公害がないこと	大気汚染、水質汚濁、騒音
全体 (n=1,385)	① 68.2	② 49.7	③ 46.9	④ 43.5	⑤ 41.2	⑥ 41.0	⑦ 39.5	⑨ 29.6	⑪ 25.6		
横浜 (n= 512)	① 69.3	② 52.1	④ 46.7	⑤ 45.7		③ 49.0					
川崎 (n= 171)	① 71.3	② 62.6		③ 52.0		⑤ 39.8	④ 40.9				
相模原 (n= 102)	① 78.4	③ 47.1	② 53.9	⑤ 39.2	④ 46.1	⑤ 39.2					
横須賀三浦 (n= 122)	① 63.9	④ 39.3	② 50.8		③ 41.0				⑤ 37.7		
県央 (n= 115)	① 71.3	④ 43.5	② 47.0	③ 46.1			⑤ 42.6				
湘南 (n= 183)	① 62.8	③ 47.5	② 48.6	⑤ 43.2	④ 45.9						
県西 (n= 59)	② 55.9		① 57.6		⑤ 42.4		④ 44.1	③ 45.8			

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

《満たされていない》の上位項目について地域別にみると、県全体で《満たされていない》の第1位となった「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」は、川崎 (36.3%)、横須賀三浦 (44.3%)、県西 (30.5%) を除く4地域で第1位となった。県全体で第2位の「(3) 地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること」は、横須賀三浦 (48.4%) と県西 (44.1%) で第1位となった。(図表3-2-5)

図表3-2-5 生活満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

(番号)	(38)	(3)	(9)	(43)	(34)	(28)	(27)	(30)	(8)	(17)	(7)	(1)	(11)	(39)
設問	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	道路の渋滞がないなど、自動車でも移動できること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	安心して子育てできる環境が整っていること	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐくむ学校教育が行われていること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること
地域														
上段：順位														
下段：(%)														
全体 (n=1,385)	① 41.6	② 37.8	③ 35.2	④ 33.9	⑤ 33.6	⑥ 33.1	⑦ 31.8	⑧ 31.4	⑨ 30.8	⑩ 30.3	⑪ 30.1	⑬ 29.7	⑮ 29.0	⑰ 27.0
横浜 (n= 512)	① 42.2	② 39.5	③ 35.9			③ 35.9	⑤ 35.7							
川崎 (n= 171)	② 36.3	⑤ 31.6		④ 32.7	③ 35.7	① 36.8								
相模原 (n= 102)	① 52.9			② 40.2		④ 36.3			④ 36.3					③ 38.2
横須賀三浦 (n= 122)	③ 44.3	① 48.4	④ 43.4	② 47.5				⑤ 42.6						
県央 (n= 115)	① 40.9	② 37.4	③ 36.5									④ 33.9	⑤ 33.0	
湘南 (n= 183)	① 43.7	② 43.2	④ 37.2									③ 37.7	④ 37.2	
県西 (n= 59)	⑤ 30.5	① 44.1	② 33.9	④ 32.2						⑤ 30.5	② 33.9			

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

【性・年代別の状況】

《満たされている》の上位項目について性・年代別にみると、県全体で第1位となった「(41) 下水道が整備されていること」は、すべての性・年代で第1位となった。(図表3-2-6)

図表3-2-6 生活満足度《満たされている》の上位項目－性・年代別

(番号) 設問 性・年代 上段：順位 下段：(%)	(41)	(40)	(12)	(5)	(16)	(42)	(14)
		下水道が整備されていること	の通勤・通学の買物など日常生活	こ身と近くに親しめる緑や水辺がある	と切病と病気の断やけがの時に、いつでも適	と水が安定して供給されている良質な	水源の森林が守られ、公園が整備
全体 (n=1,385)	① 68.2	② 49.7	③ 46.9	④ 43.5	⑤ 41.2	⑥ 41.0	⑦ 39.5
男性 (n= 550)	① 70.5	② 47.6	⑤ 42.9	④ 44.5	③ 46.0		
女性 (n= 710)	① 67.0	② 51.5	③ 51.3	④ 43.9		⑤ 41.4	
男性18～19歳 (n= 0)							
20歳代 (n= 33)	① 60.6	④ 45.5		② 54.5	③ 48.5	④ 45.5	④ 45.5
30歳代 (n= 72)	① 69.4		③ 45.8	② 52.8	③ 45.8	⑤ 43.1	⑤ 43.1
40歳代 (n= 116)	① 70.7	② 46.6	③ 45.7	④ 43.1	⑤ 42.2	⑤ 42.2	
50歳代 (n= 115)	① 70.4	② 43.5	③ 40.9	⑤ 38.3		④ 39.1	
60歳代 (n= 106)	① 68.9	② 50.9	④ 44.3	⑤ 42.5	③ 46.2		
70～74歳 (n= 60)	① 73.3	③ 50.0		⑤ 46.7	② 56.7		④ 48.3
75歳以上 (n= 46)	① 80.4	② 63.0			③ 60.9	⑤ 47.8	④ 58.7
女性18～19歳 (n= 0)							
20歳代 (n= 34)	① 55.9	④ 44.1	② 50.0	④ 44.1	③ 47.1		
30歳代 (n= 135)	① 65.9	③ 47.4	② 54.1	④ 43.0		⑤ 41.5	
40歳代 (n= 168)	① 66.1	② 57.1	③ 56.5	④ 50.0		④ 50.0	
50歳代 (n= 164)	① 68.9	② 54.9	③ 53.0	④ 41.5	④ 41.5	④ 41.5	
60歳代 (n= 111)	① 61.3	② 50.5	③ 45.0	④ 38.7	⑤ 35.1		
70～74歳 (n= 45)	① 86.7	③ 51.1		② 53.3		④ 48.9	⑤ 46.7
75歳以上 (n= 51)	① 70.6	④ 41.2	③ 43.1	⑤ 39.2	② 49.0		⑤ 39.2

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

《満たされていない》の上位項目について性・年代別にみると、県全体で《満たされていない》の第1位となった「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」は、男性の30歳代(51.4%)・50歳代(46.1%)・70～74歳(45.0%)・75歳以上(37.0%)及び女性の20歳代(52.9%)・30歳代(48.1%)・40歳代(42.9%)・70～74歳(40.0%)・75歳以上(47.1%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第3位の「(9) 高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は、女性の50歳代(41.5%)・60歳代(48.6%)で第1位となった。県全体で第4位の「(43) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」は、男性の40歳代(50.9%)で第1位となった。県全体で第5位の「(34) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」は、男性の20歳代(57.6%)で第1位となった。(図表3-2-7)

図表3-2-7 生活満足度《満たされていない》の上位項目－性・年代別

(番号) 設問	(38)	(3)	(9)	(43)	(34)	(28)	(27)	(30)	(8)	(17)	(7)	(2)	(33)	(1)	(11)	(18)	(39)	(21)	(4)	(32)
	地域の人の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	道路の渋滞がないなど、移動できること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	安心して子どもを育てられる環境が整っていること	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐくむ学校教育が行われていること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること	犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	犯罪や不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	安全・安心な消費生活の確保に関する施策が充実していること	ひきこもりなど青少年の多様な悩みに対応する相談体制があること
性・年代																				
上段：順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑬	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	㉑
下段：(%)	41.6	37.8	35.2	33.9	33.6	33.1	31.8	31.4	30.8	30.3	30.1	30.0	29.7	29.7	29.0	28.7	27.0	26.8	25.3	25.3
全体 (n=1,385)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑬	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	㉑
男性 (n= 550)	①	③		②	④					⑤										
女性 (n= 710)	①	②	③			④	⑤													
男性18～19歳 (n= 0)																				
20歳代 (n= 33)	③			③	①	②		③								③				
30歳代 (n= 72)	①			②	③	④	④													
40歳代 (n= 116)	③	③		①	②								⑤							
50歳代 (n= 115)	①	②	⑤	③	⑤					④						⑤				
60歳代 (n= 106)		④	②	③					⑤	①										
70～74歳 (n= 60)	①	②				④				④					③					
75歳以上 (n= 46)	①								⑤			①	⑤	①	⑤					①
女性18～19歳 (n= 0)																				
20歳代 (n= 34)	①	④				①	④	④			④							③		
30歳代 (n= 135)	①	⑤			③	①		④												
40歳代 (n= 168)	①	④			②		③	⑤												
50歳代 (n= 164)	②	③	①					③								⑤				
60歳代 (n= 111)		②	①						④			③		⑤	⑤					
70～74歳 (n= 45)	①	③	④												⑤		②		⑤	
75歳以上 (n= 51)	①	③	②				③			③					③					

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/)